

中村館長の

館長だより 第19号(2020/8)

時期は盛夏。例年では夏休みの期間ですが、新型コロナウイルス感染防止のため、通常の休み期間が極端に短くなってしまっているケースも多く見られるようです。

さて、毎年この時期には「夏休みモノづくり体験」が行われてきました。本年度についても規模を縮小し、三密を避けながらという条件で、これらの催しを実施する予定で進めまいりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染状況から、残念ながらこれらの行事をすべて中止とせざるを得ない状況に至りました。

今回の「夏休みモノづくり体験」について楽しみにされていた方々には、申し訳ございませんが、新型コロナウイルス感染防止という観点からご了解いただければと存じます。

体験学習とともに紀伊風土記の丘の重要な催しに、各種の講座があります。

新型コロナ感染拡大によって長らくの間、講座開催が中止、または延期となり、ご迷惑をおかけしておりましたが、一部を除いて7月からは順次、旧に戻りつつあります。

8月22日には館長講座「仏教考古学あれこれ」、8月23日には夏期企画展「骨の考古学—骨から見るわかやまの古代—」に伴う展示講座、8月30日には「見つけてみよう風土記の昆虫」があり、これらについては、現在のところ実施する予定で進めております。

いずれも当初の募集人員30名からは、半数の15名と大幅に縮小された定員になっていますが、これもコロナ感染防止のためですのでご理解ください。

なお、これら講座には、あらかじめ申し込みが必要となりますので、よろしくお願ひします。申し込みは先着順に受け付けております、その時期は、それぞれの講座によって異なりますので、あらかじめ館のホームページでご確認いただきますようお願いいたします。

夏期企画展示は「骨の考古学—骨から見るわかやまの古代—」を8月30日まで催しておりますので、まだご覧になっていない方にはぜひこの機会に御高覧いただければと存じます。

皆様方のご健康をご祈念申し上げるとともに、今後とも和歌山県立紀伊風土記の丘をよろしくご支援いただきますよう、お願いいたします。